

# 彙報

## △地方支部の情況

本會創立以來道路改良に關する各種の方面に互り銳意事業に努力し來りたれども、未だ之を以て足れりとせず、一層事業の振興を期せんとして、客歲全國各地に支部設置を企圖する所ありしに、機運の然りし爲か、各地の反響頗る盛大にして、就中滋賀縣の如き、會ては其の縣に支部設置の要を見ざるべしと聲名したりし地方が、夙く已に之が設置の計畫成り、堀田知事を支部長に推し、二月十二日盛大なる發會式を舉げ、本會よりは理事佐藤中將都築幹事出張せり。隣縣岐阜の如きも、多額の資金を造成して、本會をも凌駕せん勢を示し、兵庫廣島愛知長崎三重岡山神奈川等入會者數各千名を超過すべき勢にして、又北陸の新潟富山を始め、四國に於ては香川、愛媛、徳島、東北の青森栃木九南の果てなる鹿兒島、沖縄等に

至る迄、續續盛んなる報を齎らし東京、大阪は言ふに及ばず和歌山、長野、群馬、山口等相次で支部設置の準備中に屬し、又北海道支部の如きは數千名を算すべく、本會當初の企圖に對し、將た全國道路改良の爲め、唯に本會の欣懷たるに止まらず、寔に邦家の幸慶といふべし。

## △澁澤子爵及ヒル氏歡迎

米人サミュエル、ヒル氏三度渡來す、氏は本會創立に寄與せられたるの人なり、會々顧問澁澤子爵米國より歸朝せらる、依て兩氏歡迎の爲め晚餐會を丸の内工業俱樂部に開催せり。幸に兩主賓を始め本會評議員石渡敏一氏、同服部金太郎氏同原田吉兵衛氏同堀田貢氏、同根津嘉一郎氏、同長岡外史氏、同松方巖氏、同松本學氏、同近藤虎五郎氏、同近藤仙太郎氏、同淺野總一郎氏、同佐上信一氏、同須田利信氏、原田内務技監等朝野道路の諸星一堂に會せられ、席上副會長内田嘉吉氏より、ヒル氏に對し大要左の挨拶を演べ、之れに對しヒル氏は非常なる厚き感謝の辭を述べたり。

### 内田副會長挨拶大要

我國道路の改良運動に多大の聲援を與へられたるサミュエルヒル氏、海上恙なく渡來せられ、茲に會員諸氏と共に、歓迎の機會を得たるは寔に欣幸とする所なり。

回顧すれば、一昨年貴下渡來の際本會の現状並に事業の大意に關し、貴下の清聽を煩はし置きたりしが、其後本會は第一次の事業として計畫せる東京市路面改良事業は、悉く本會の建議を納れられ、政府は之に對して補助をなし、今や其の事業は漸次着手の域に向ひ、市民の要求に副ふことに力めつゝあり。

第二次の事業としては、東京神戸間國道改良計畫の調査に着手して、已でに其成案は關係當局其他に配付を了せんとす。而して本會が往年本計畫に着手するや、沿道の當路者亦之に響應して、夫々道路の改良を計畫し、箱根坂路の改修、京濱阪神兩國道の改修、大井富士兩川の架橋準備は、既に竣らんとする状態に在り。

更進んで神戸下關間國道改良計畫の調査を爲すが爲、昨年七月沿線に交通情勢觀測所を設け、各種交通

ること切なるを覺ゆ。従つて本會の負荷益々其の多きを加へ、國民の期待に對し、其責愈々重且つ大なるを加ふ。

サミュエルヒル氏、曩に本會の成立に好援を與へられたる關係上、向來に於ても尙一層力を添へられんことを切望して止まざるなり。一言以て謝意を表し、併せて貴下の健康を祈る。

尙本會顧問（時の内務大臣）床次竹次郎氏同評議員小橋内務次官同常務理事堀田土木局長の三氏より、濫澤子爵並にヒル氏に對し、兩氏は東西道路の先覺者たるの故を以て、其の趣旨を彫刻せる記念品を贈呈せられたり。（口繪参照）

#### 一、濫澤子爵へ呈せる記念品彫刻文

道路改良ノ先覺者ニシテ道路改良會ノ顧問タル子爵濫澤榮一閣下ニ對シ我國道路改良著手ノ記念トシテ此ノ鋤ヲ呈ス

大正十一年二月十日

床次竹二郎  
小橋一太  
堀田貢

の態様を調査すると共に、本會幹部は自動車を連れ、之れが巡視旁本線二百三十餘哩を踏査したるに、沿線各地の官民は、舉て本會の事業を賛助し、到る所多大の便宜及歓迎を受け、道路改良宣傳の效果益大なるを覺えたり。本區間改良計畫調査の完成も遠きにあらざるべく、之が調査完成を得ば、帝國幹線道路の最重要部分の改良計畫は樹立せらるゝ次第なり。改良計畫の樹立如上の情況なるを以て、今後は愈事業施行の期に入り、之が實行の任に當るものは、最新の智識を有する者に非らずんば能はず、依て是等吏員の養成に關し、客歲八月全國道路の技術及事務に従事するもの二百十八人を集めて、講習會を開き、又道路改良叢書の刊行を計畫して、汎く頒布の筈なるを以て、愈事業の施行に際會せば、必ずや大なる効果を齎すべきを信す。

本會の事業は右に擧ぐるが如く、益盛大に赴き、會の基礎を鞏固ならしむるの必要に迫りたれば、主務大臣の許可を経て、法人組織に改めたり。今や文物の進歩發達は、吾人生活の態様に非常なる變化を來たし、道路交通機關の發達及改良の必要を感知す



（口繪寫眞參照）

一、サミュエルヒル氏に贈れるスコープに彫刻せる英文

To Mr. Samuel Hill who has done so much for Japan and who turned the first shovelful of earth of new roads in Japan.  
Feb. 10th. 1922.

T. Tokonami,  
I. Kobashi,  
M. Hotta.



(照參眞寫繪口)

### △地方土木主任官慰勞會

全國土木主任官會議に出席の各府縣土木課長、並に内務省土木關係諸官を、六日東京銀行集會所に招待して、慰勞の清宴を張れり。本會よりは堀田、山田、松木、佐藤、和田、相島、中川各理事、佐上、松本、牧野、都築各幹事出席主客併せて百七十七名頗る盛況を極む。満場拍手の裡に堀田常務理事(時の警視總監)は起て左記(大要)の挨拶せらる。

今回地方土木主任官諸君の、内務省に御會同の機會に於きまして、本會に對する御盡力を謝し、且又御高説を拜聽致度と存じまして、諸君竝に關係諸官を御招待申上げました所、御多忙の際にも拘はらず、

理事起て來賓一同の健康を祝し、原田内務技監本會の隆昌と役員の健康を祝福せんとて干盃を提唱し一同之れに和し、歡聲裡に散會せり。

### 役員訃報

理事近藤虎五郎博士(内務省第一技術課長)は昨夏二豊の侵す所となり、治療に盡されたるも其效なく、大正十一年七月十七日溘焉長逝せらる。

博士は本邦斯界の巨擘にして、本會事業の爲め終始其力を效され、本會の博士に負ふ所大なるものありしに、今や亡し、洵に痛惜に堪へざるなり。

### 會務分掌規定

本會は事業施行の敏捷を期し、其の計畫を充分ならしめんが爲め、庶務、經理、出版、調査の四部分ち、常務理事を増置して、各部主任を設け、左の分掌を定めたり。

庶務部

業 報

斯く多數の御來臨を得ましたことは、本會の最も欣幸とする所であります。

抑も本會は創立の始めより、我邦道路改良の爲、或は道路改良に關する調査、或は之に關する中央若は地方に於ける宣傳、又は印刷物の頒布、其の他地方の講演會、將た道路職員の講習會等最須要なる事業を致して參りまして、其都度諸君の不尠御援助を得ましたことは、本會の深く感謝する次第であります。將來亦一層之等の事業に出精しますと共に、益會務の振興を圖らうと存じますれば、諸君に於ても向後尙一層の御助力を煩し度、本席は甚だ非薄なる設けでありまして、何等風情も御座りませんが、充分御懷抱を御披きになり、御歡談を盡さるゝ様、切望して止まぬ次第であります。

次で松木理事、長谷川土木局長、佐上幹事の演説に引き続き愛知縣土木課長勝又愛次郎、新潟土木課長松浦園四郎、滋賀縣土木課長田邊良忠、三重縣土木課長杉谷幸藏、神奈川縣土木課長高田景、埼玉縣土木課長清水一徳、静岡縣土木課長藤宮惟一諸氏より有益なる意見又は希望演説あり。午後九時半堀田

#### 一、庶務の處理

二、政府又は他の團體上の交渉連絡事業

三、講習、講演、展覽會其の他教化に關する事業

四、新聞雜誌事業の供給に關する事業

#### 經理部

財務(會計を含む)の處理

#### 出版部

一、雜誌の發行事業

二、出版事業

#### 調査部

一、事務方面の調査事業

二、技術方面の調査事業

而して昨年八月内務次官堀田貢氏副會長に、土木局長長谷川久一氏庶務部主任理事に、鐵道同志會副會長山田英太郎氏經理部主任理事に、東京市政調査會理事松木幹一郎氏出版部主任理事に、内務省第二技術課長比田孝一氏調査部主任理事に各就任せられ

### △東海道國道改良に關する件

本會夙に東京神戸間國道改良計畫の調査に従事する所ありしが昨年六月遂に之が調査書を刊行して普く會員に頒つと共に東京、神奈川、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、各府縣知事並に東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戸の各市長に對し、右調査書を添へ、左の建議を爲し、以て本線道路の改良を促すと共に、之を全國地方長官及土木主任官の一覽に供し、以て道路改良上の參考に資する所ありたり。

輓近道路を利用する高速重量車輛の普及發達に伴ひ、今や交通機關たる道路の地位は方に鐵道の壘を摩せんとするの域に達し、各國競ふて之が改良に力を致さざるはなし。然るに翻て我國道路の現状を觀るに、帝國交通の幹線道路たる東海道國道は、往昔より其利用極めて厚く、其の沿線地方は何れも社會上産業上

極めて樞要の地位を占むるにも拘はらず、其の間仍百餘の峻坂を存し、完全なる架橋の設備なき等其の缺點擧て數ふべからず。之が改良は國運の進展上寔に焦眉の急務に屬せり。是を以て本會曩に之が改良の要を唱導し、併せて之が改良計畫の調査を開始し、攻究を重ねる事二年有餘、茲に別紙改良計畫案を得たり。固より本計畫は唯其大體を示すに過ぎず、之が具體的の計畫に關しては、更に其の實施に方り、詳細なる調査を要するは論を俟たずと雖も、此の點に關しては、本會亦協力を吝まざるべきを以て、貴府(縣)に於ても本計畫を參酌し、道路改良の計畫に資せられ度、右本會理事會の議決を經申進候也

大正十一年八月 會 長

### △六大都市道路係主任慰勞

客臘東京横濱、名古屋、京都、大阪、神戸六大都市道路主任者並に關係府縣道路主任官内務省に於ける會同に出都せられたるを機とし、本會は十二月二十二日丸の内永樂俱樂部に招待せり。

重なる來賓としては、東京府伴技師同江森道路主任事東京市竹内技術課長、京都府渡邊技師、京都市永田課長、大阪府島課長大阪市直木部長同岩田部長清水技師長、同花井技師同岡崎部長同福留技術課長、神奈川縣榑井、木村兩技師兵庫縣山本技師神戸市淺見課長西光係長愛知縣川越技師其の他同縣關係諸官拾數名なり

席上山田本會經理部主任理事左の挨拶を述べ、島大阪府土木課長之れに對し鄭重なる謝辭あり。別席に於て佐上本會幹事は、本會々務振興に關する趣旨を説明あり。來賓亦所懐を交換し、歡談數時盛況を極めたり。

### 山田理事挨拶大要

今回内務省に於ける御會同の機會をもちまして、今夕御案内を申上げました所、御多用の際にも關は

らず、斯く多數諸君の御來臨を得ましたことは、本會の光榮に存ずる次第であります。



(宴勞慰任主路道市都大六)

本會は去る大正八年創立以來、道路に關する諸般の事業に力を致しまして、其都度諸君の御援助を得

ましたことは、本會の深く感謝する所でありませう。今後益會務を擴張致しまして、諸君の御盡力に酬ひ度存じます。又本會の事業は、主として内務省所管事項に密接なる關係がありますから、自然諸君の御助力を仰ぐ點も多からうと存じます。何卒今後尙一層御助力を希望する次第であります。

今夕は粗餐を差上げ、此段は恐縮に存じますが、緩々御歡談を盡されんことを切望する次第であります。

### △東京市道路工事期間に對する件

東京市路面改良工事に關しては、本會夙に改良計畫の調査を行ひ、數次關係各方面に進議し、之が爲め鋭意努力し來れる所にして、本會の調査計畫は、幸に當路の納るゝ所となり、着々事業の進捗を見るに至りしが、戦後經濟界の動搖は、政府の緊縮に表はれ、延ひて公共團體の事業に及び、同市が第一期工事として大正十年より同十五年に至る六箇年に亘り、工事費三千九百四十六萬圓を以て、重要路線長約十六萬千餘間面積約車道八十七萬五千餘坪及歩道約十九萬二千四百餘坪を舗裝し、此に要する費

用は御下賜金國庫補助金府税下附金受益者負擔金及普通市費に仰ぎ、尙不足の分は短期借入金で以て經理せんとするに在りたりしを、今回市が調査設計に意外の日子を要したる等の爲め、初年度に於て豫定工事の遂行を見る能はざりしに由り、年度支出額の變更をなし、總豫算額内に於て、左表の更正を爲さんとして、客年十二月中旬同市道路評議會に諮問せられたり。

東京市路面改良計畫費新舊對照表

年 度	當初計畫額	變更計畫額	修正意見ニ依ル計畫額
十 年 度	三、八七、〇〇〇	一、〇七、五七七	一、〇七六、五七七
十一年度	七、四五、〇〇〇	四、八九、四三三	四、八九一、四三三
十二年度	七、六七、〇〇〇	七、六七、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
十三年度	七、四七、〇〇〇	九、〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
十四年度	六、九五、〇〇〇	九、〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
十五年度	六、四七、〇〇〇	七、八三、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
十六年度			五、〇〇〇、〇〇〇
十七年度			五、〇〇〇、〇〇〇
十八年度			三、八〇〇、〇〇〇
計	三九、四六、〇〇〇	三九、四六、〇〇〇	三九、四六、〇〇〇

茲に於て本會は奮勵、二十二日匆忙の際なるにも不拘緊急協事會を開きて、左の議を決し、同評議員に之を送附せり。

拜啓益御清穆の段奉賀候。陳者曩に東京市に於て、市内路面改良に着手してより以來、着々工事の進行を見つゝあるは、道路の改良を目的とする本會の最も欣快とする所に有之候。然るに東京市は、今回その計畫を變更せんとし、道路評議會に諮問せられ、目下御審議中の趣承り居候處、右計畫の促進如何は、市民の生活と重大なる關係を有し、一日を緩ふすべき事業に無之と被存候。仄聞する處によれば、事業財源に供せられたる國庫補助金の減額及府税下附金未定等の爲、事業年度延長の議も有之やに候へ共、年度延長の爲減少すべき事業費は僅少にして、爲に市民の負擔に格別影響ありとは認められず、國庫補助金増額又は府税下附金の如きは、單に去年度に於て豫定の収入を得ざるに過ぎずして、事業年度中には、必ずや豫定の収入を得べく、本會又此が目的の達成に關し、敢て努力を惜まざる所なるを以て、市内道路改良が刻下の急務なるの實情に鑑み、東京市

提出の變更計畫すら市民に對し多少物足りぬ感有之様の次第なるに、更に市の提案に對し、事業年度を延長するが如きは、市内交通の現狀に照し、吾人の堪ゆる能はざる所に有之候に付、此際篤と御審議を煩し、更に適當の機會に於て、事業の繰上げを爲すことを條件として、止むを得ずんば市長の提出案を是認せられ候様格別御配慮相煩し度、本會理事會の決議を経如斯に御座候。拜具

大正十一年十二月二十三日 道路改良會

### △海外出張及歸朝送迎

客年一月十二日幹事佐上書記官を迎へ、幹事牧博士の行途を祝し、同四月十五日副會長内田貴族院議員渡歐の途を祝したりしに、流光矢の如く、本年一月初め牧博士内田副會長相續て歸朝せられ、又幹事松本書記官囑託佐藤内務技師は、共に萬國道路會議出席の要務を帯び、船を同ふして三月夕々出帆せられたり。之に先ち本會は、右諸賢送迎の爲め、晚饗會を催し、兼て理事會を開けり。顧問澁澤子爵、副會長内田貴族院議員、理事長谷川土木局長、同山田鐵道同志會副會長、同松木東京市政調査會理事、同佐藤陸軍

中將、同桐島像一氏、同和田參謀本部第三部長、同中島男爵、幹事、牧博士佐上松本兩書記官、佐藤囑託、都築田中兩幹事出席、先づ役員會を開き、桐島理事より(一)市街路面鋪裝工事中、歩道の鋪裝は急務中の急務たる事由を痛切に述べられ、各役員よりも、夫々割切なる意見の開陳ありて、之が對策を決定、佐藤理事より(二)滋賀支部發會式の盛大なりし情況、佐上幹事より(三)各地方入會申込者の情況、牧幹事より(四)本會購入品囑託に關し又最新式交通事故防止標示器の紹介及其他諸般の報告等あり。右終はりて、送迎晚餐會に移り、席上濫澤子爵の懇篤なる送迎の辭と、之に對する謝辭の後、子爵の發議に由り、牧博士を煩して道路に關する講演會開催の事を決せり。

### △第十回講演會開催

二月二十四日、本會第十回講演會を、東京市大手町大日本私立衛生會館に開催せり。講師は前項に記載せる如く、今春歸朝の本會幹事内務省土木試験所長牧工學博士にして、歐米に於ける道路問題の近情と題し、希臘羅馬時代の道路に關する沿革より、最

近道路の利用並に築造の實際情況等に亘り、有益なる講演ありたり。聽衆は東京府市道路の要職に在る諸員は勿論、埼玉、神奈川、三重、愛知、栃木、福井各縣の土木關係諸官、内務技師、東京帝國大學工學部教官に至るまで、斯道の大家堂に溢れ盛況を極めたり。

### 役員動靜一束

- 堀田副會長輕快 副會長堀田内務次官は餘後靜養中の處輕快せり。
- 箱根國道改修起工式 一號國道箱根坂路改修起工式を十二月一日箱根町に舉行す。佐上内務省道路課長は、秘書文書の三課長を兼ね煩る多忙なるにも不拘臨席して内務大臣の祝辭を朗讀したり。尙都筑幹事も本會を代表參列せり。
- 滋賀縣支部發會式 二月十二日同縣支部創立總會に際し理事佐藤陸軍中將は本會を代表して臨場し約二時間に亘る講演をなし、都筑專任幹事は會長祝辭を代讀し、歸途石田長濱線改修起工式に參列せり。
- 牧所長歸朝 幹事内務省土木試験所長牧工學博士は世界各地に亘り道路に關する調査及視察を了へ今春一月五日横濱着歸朝せり。
- 内田副會長歸朝 副會長貴族院議員内田嘉吉氏は萬國船員會議に日本政府代表として出席し、歸途日人未踏の南亞弗利加の蕃地或はキンパー等にも入り、交通狀態を視察して、一月六日神戸着歸朝せり。
- 松本幹事、佐藤囑託出張 幹事、松本書記官、囑託佐藤技師は萬國道路會議列席の爲め三月四日神戸出帆の箱根丸にて渡歐せり。
- 中川理事出張 理事、中川鐵道省運輸局長は交通上の要務を帯び四月十六日關西方面に出張せり。